

# 農業委員会だより



## 主な内容

- **農業委員会活動報告**
  - 農業委員会長大会……………2
  - 女性農業委員料理教室……………3
- **農業委員会からのお知らせ**
  - 農家相談コーナー……………5
  - 農地パトロールの実施……………6
- **地域農業情報**
  - 農業したいまち栗原……………8
  - 直売所でみ～つけた！……………8

**適期の除草で  
収量アップを**

7月上旬、若柳有賀地区で、転作大豆の除草剤散布作業が行われていました。大きな羽を広げたようなこの農機具は、広範囲に効率的に薬剤等を噴霧することができます。雑草の発生は大豆の生育を阻害し、収量・品質に影響を与えるため、除草作業はとても大切な作業となります。みなさんの近くの畑でもこの作業が行われている風景を見ることができるといいかもしれません。

## 平成25年度 全国農業委員会会長大会 具体的な政策提案の実現を要請

5月30日(木) / 日比谷公会堂 (東京都)

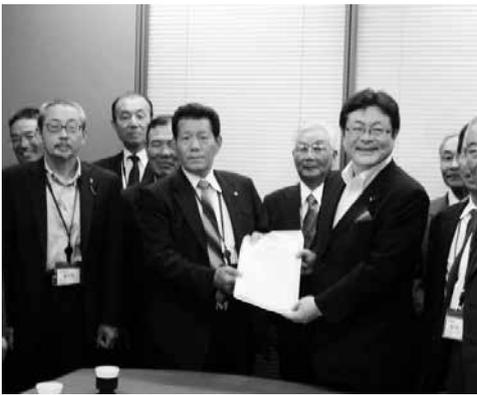


栗原市農業委員会  
会長  
門傳 仁

大会は、開会前から約50人以上の国会議員が壇上に並び、いつもより熱のこもった様子でスタートしました。

全国農業会議所の二田会長が「TPP交渉は非公開、情報がザッパリ入って来ない。国会議員の皆さんが知っていれば教えて欲しい。」と迫る一幕もあり、終始、真剣で緊迫した雰囲気でした。

しかし、国会議員諸氏は自分の紹介が終わるとさっさと退出、本当に我々の要請書の内容と現在の農業情勢を理解されているのか、立場によって変わる「国益」ではなく真の「国益」について熟慮されているのか、甚だ心許ないものであります。



▲要請書の提出 (左が門傳会長)

### ～大会議事内容～

- ①基本農政の確立に向けた政策提案  
農地制度の実効性確保 / 日本型直接支払いのあり方 / 担い手総合支援の確立 / 震災への万全な対応 /
- ②TPP交渉に反対を求める要請
- ③農業委員会活動の「さらなる取り組み」に関する申合せ
- ④情報提供活動の強化に関する申合せ

## みやぎアグリレディス21 第11回通常総会 白幡洋一氏が農業者へエール

6月21日(金) / ホテル白萩 (仙台市)



栗原市農業委員会  
委員  
佐竹 きみ子

県内の女性農業委員組織「みやぎアグリレディス21」の第11回通常総会が開催され原案通り承認可決されました。

その後、「女性の社会参画」や「六次産業化に向けての起業」について株式会社ベガルタ仙台の代表取締役社長白幡洋一氏の講演がありました。

講演のなかで、「一次産業は成長産業であり、農業は有望な成長産業である。日本には誇れる良い物がたくさんあり、叩かれたとしても良いものは分かる人には分かる。

私達日本の農業者は品質の良いものを自信を持って生産するべきだ。夢は夢中にあり、夢は必ず実現するものであるといつ

も実現に向けたい夢を、持ち続けて欲しい」と私達に大きなエールをいただきました。

今、TPP問題など一次産業、特に日本の農業は深刻な悩みを抱えています。交渉が成立したなら日本の農業はダメになるのでは、地産地消がくずれて安心安全なものが保たれなくなるのではなどの不安や心配の種が山積み状況にあると考えます。

とにかく沈みがちになりそうな農業情勢であります、個々の力を発揮し、農業者の力を結集し、「日本の農業を守らなくては…」と強く感じた研修会でした。



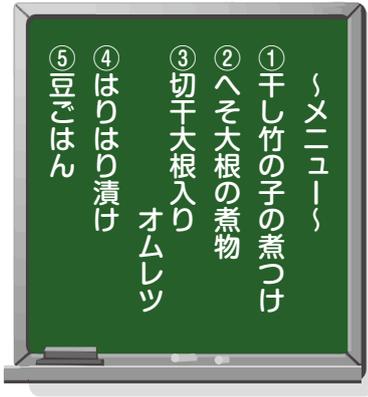
## 地元野菜を使った料理教室 女性農業委員が保存食をテーマに開催

6月18日(火) / 栗駒みちのく伝創館

地産地消を目的に、女性農業委員が講師となり、栗原の食材を用いて料理教室を開催しました。

今回のメニューは、この時期に家に野菜がないので、保存していた野菜を用いることをテーマとして、決定されました。

メニューごとに調理台が割り振られ、順番に調理していきました。調理の前には委員による説明があり、調理のポイントやコツを丁寧に説明し、すすめられました。相づちを打ちながら、説明に聞き入っているよう



▲説明に聞き入る参加者のみなさん

特に干し竹の子は珍しい食材とすることで保存食の作り方も熱心に質問していました。

調理の後には、試食会が設けられ、皆さんで意見交換しながら料理を食しました。「地元野菜を使った料理の幅が広がった」といった意見や、「他の地元食材を使った料理を作りたい」といった意欲のある意見も聞かれました。

## 平成25年度 農業者年金加入推進特別研修会 大場次郎委員が熱く事例を発表

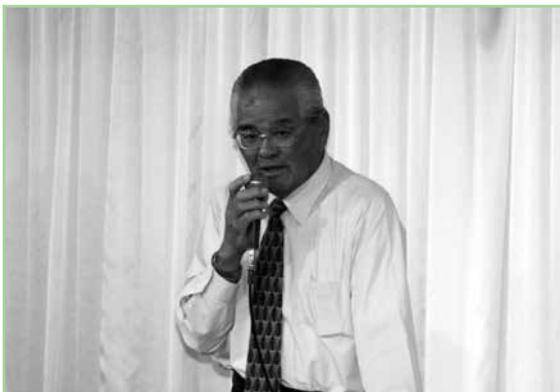
6月6日(木) / ホテル白萩(仙台市)

県内の加入推進部長、女性農業委員、農業委員会、農協職員を対象として、今年度の農業者年金加入推進に向けた研修会が開催されました。

研修では、昨年度まで実施された「10万人突破・新規加入者底上げ3カ年計画」において、加入者累計で10万人を達成したこと、宮城県においては過去2

番目の実績にあたる105人の新規加入者(目標達成率64・4%)を確保したことなど、加入推進の成果についても報告されました。

その後、県内3地区代表の加入推進部長から「農業者年金加入推進の取り組みについて」の事例発表が行われ、栗原市からは大場次郎委員が発表を行いました。農業委員、農業委員会事務局職員、農協職員が連携を取りながら一緒に個別訪問をして



▲事例発表をする大場次郎委員

加入推進につなげている事例を、熱い持論を交えながら発表しました。  
発表の後は、3グループに分かれてグループディスカッションが行われ、加入推進における課題や取り組みなどを熱心に意見交換をしました。

**農業者年金に加入しましょう！**

農業者年金は農業者の方なら広く加入できる年金です。

詳しくは、農業委員会事務局へお問い合わせください。

電話 42-1239

## 平成25年度第3回農業委員会総会 農業委員会の新事業を実施決定

6月24日(月) / 栗原市役所金成庁舎

栗原市農業委員会の平成25年第3回総会を開催しました。今回の総会は、年度初めの総会であり、前年度の活動の点検・評価や今年度の活動の目標と計画を決定する会議になります。平成24年度の主な報告としては、農業経営の高齢化や後継者不足が進み、担い手の確保、育成が重要な課題になっていることが報告されました。平成25年度の計画としては、「人・農地プラン」の策定に積極的に携わり、関係機関と連携して確保・育成に取り組むとして決定されました。

さらに今回は、農政委員会で議論された「栗原市農業委員会のあり方について」の検討結果が報告されました。県平均や他委員会と比較を行い、農業委員一人当たりの農家数・農地面積が県平均の2倍程度、3部会平均の取扱案件数が1.3倍程度であることや、選挙区などについても報告されました。

また、今回は農業委員会の新事業として、「栗原市農業委員会荒廃農地復元モデル事業」の実施要領が定められました。この事

業は荒廃農地を農業委員が率先して、モデル的に復元作業を実施することにより、対象農地を地域の担い手に耕作させるとともに、耕作放棄地を解消することを目的としています。これから各農地部会にて、農地を選定するなど、詳細について検討し、実施していくことになりました。



▲総会にて報告の様子

## 平成25年度第3回委員視察研修会 荒砥沢調整池を視察

6月24日(月) / 築館沖富地区

平成25年第3回委員視察研修会を、築館沖富地区の荒砥沢調整池で開催し、迫川上流土地改良区の職員を講師に現地にて説明を受けました。

荒砥沢調整池は、平成20年の岩手・宮城内陸地震による被災で荒砥沢ダム(栗駒文字地区)が失った145万㎡のうち、56万㎡の水量を確保する代替施設として新設されました。調整池は貯水面積14・9haに及ぶ巨大なものでしたが、それでも荒砥沢ダムの約3分の1の代替であることから、内陸地震の脅威とともに、農業に関わる水の大切さを改めて、実感させられた視察研修となりました。

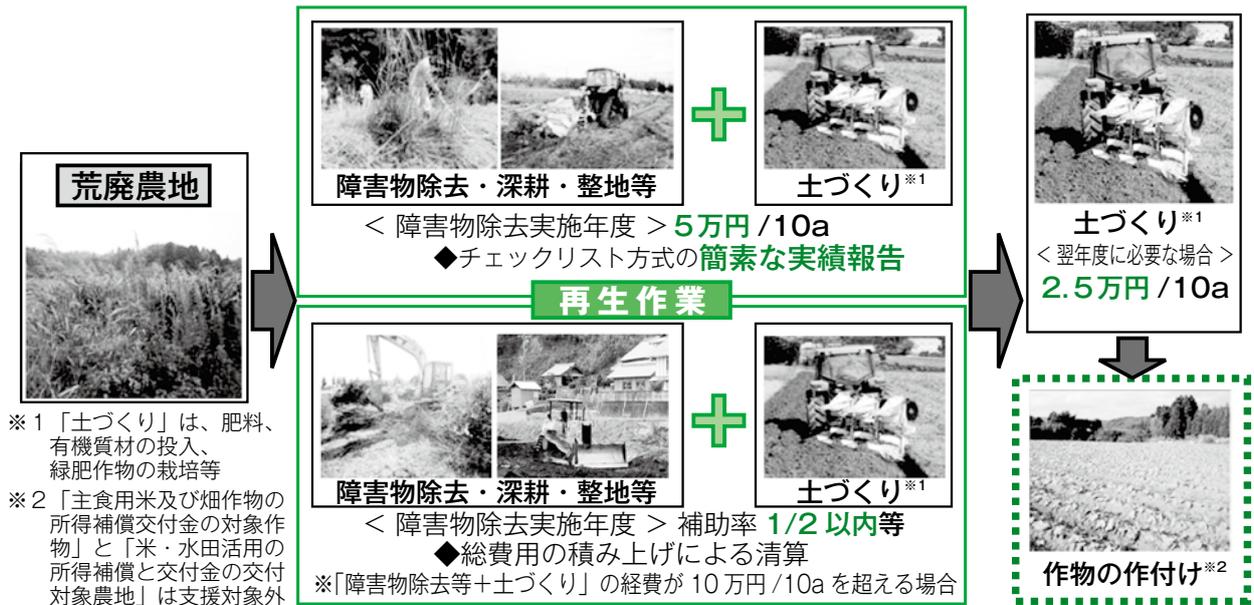


▲講師の説明を聞く委員

**今年度が最終年度!**

# 耕作放棄地再生利用緊急対策を活用しませんか?

耕作放棄地を再生し、作物を生産する取り組みを支援しています。  
昨年度、栗原市では5件(2.9ha)がこの事業により耕作放棄地を再生  
しています。**事業の着手前に農業委員会事務局までご相談ください。**



※1「土づくり」は、肥料、有機質材の投入、緑肥作物の栽培等  
 ※2「主食用米及び畑作物の所得補償交付金の対象作物」と「米・水田活用の所得補償と交付金の交付対象農地」は支援対象外

## 農家相談コーナー

**Q** 農地を相続することになりました。農業委員会  
で手続きが必要でしょうか。

**A** 平成21年の農地法改正により、相続人(権利を取  
得した者)は農業委員会へ届出が義務づけられまし  
た。

現在、農業委員会では該当者へ届出の通知を定期的に  
送付しております。おおむね10ヶ月以内に提出してくだ  
さい。

また、この届出は権利取得について知らせるものであ  
り、別に所有権移転の登記が必要になりますので、ご注  
意ください。

**Q** 夫の農地を相続することになりましたが、子供  
たちが遠くでくらししているので、相続登記が進み  
ません。このままでは耕作できず、荒れてしまいま  
す。どうしたらよいのでしょうか。

**A** 平成21年の農業経営基盤強化促進法の改正により、  
共有に係る土地について相続権の二分の一以上の同  
意があれば、期間が5年以内で認定農業者等に農地を貸  
すことが可能になりました。

これを利用すれば、5年以内は耕作することができま  
す。その間に相続について話を進めてはいかがでしょ  
うか。

**農業者年金に加入しましょう!**

農業者年金は農業者の方なら広く加入できる年金です。

詳しくは、農業委員会事務局へお問い合わせください。 電話 42-1239

# 農地パトロール (利用状況調査) を実施します!



**9月・10月・11月** は

今年も市内の農地が **適正に利用されているか**を調査します。

実施中は車に黄色い表示板、腕に緑の腕章をつけています。調査にご理解をお願いします。

○下記に該当する農地については、農業委員会が所有者等へ **適正利用について指導**します。

### 指導対象農地

- ① 1年以上耕作されず、続く見込み
- ② 周辺と比べ低利用
- ③ その他違反転用など

## 農地の転用には許可が必要です!! 無許可で転用すると 厳しい罰則 が適用されます

### 農地の転用?

農地を農地以外で使用することです。

例) 住宅、工場等の建設  
駐車場、資材置場、私道として使用  
造林のための植林

### 許可?

農業委員会を通して、県知事の許可が必要になります。

申請面積が4ha以上の場合には農林水産大臣の許可になります。

### 厳しい罰則?

「工事の中止」や「農地への現状回復」など必要な措置が命ぜられます。他にも現状回復命令違反や違反転用について

個人：3年以下の懲役又は3百万円以下の罰金  
法人：1億円以下の罰金

といった適用があります。

## 農地転用(許可)は農業委員会へ

**農作業注意情報**  
**熱中症に気を付けましょう。**

▽熱中症とは？

- ・高温時に体の調整がくずれ、発症する障害
- ・死に至ることもあります
- ・予防でき、適切な処置で救命できます

▽予防策は？

- ・日差しを遮り、通気性の良い服装
- ・作業はできるだけ複数で
- ・喉が渇く前に水分補給
- ・こまめに涼しいところで休憩
- ・室内作業でも換気に気を付ける

▽もしなつてしまったら？

症状：めまい・こむらがり・大量の汗  
対処：水分や塩分を補給しましょう

症状：頭痛・吐き気・体がぐったりする  
対処：足を高くし休憩・水分塩分補給  
もし飲めないときはすべ、病院へ

**重症**

症状：意識ない・痙攣・歩けないなど  
対処：救急車を呼び、体を冷やす

**月末の部会にかける案件はその月の10日まで**

農業委員会では

- ・農地の売買・賃借の許可
  - ・農地転用への意見を県に送付
- といった業務も行っています。  
その審議を行うのが農地部会で、地区ごとに3つにわかれています。

**第1 農地部会**

築館・高清水  
一迫・瀬峰

**第2 農地部会**

若柳・金成  
志波姫

**第3 農地部会**

栗駒・鶯沢  
花山

農地部会の開催は毎月25日前後ですが、その月の農地部会で審議が必要な案件は10日まで必要書類を揃えて、申請の受付を農業委員会及び各総合支所で行っております。

○毎月の流れ

日	内容
10日	申請書等締切
20日前後	現地調査
25日前後	農地部会開催 10日までに提出された案件を審議
翌月上旬	申請者へ許可書を送付

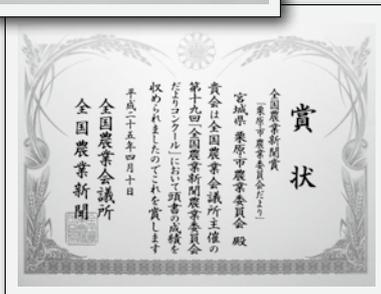
**くりはらし農業委員会だよりが表彰されました!!**

宮城県農業委員会だよりコンクールにおいて「農業委員会だよりの部 優秀賞」を受賞しました。

また、全国農業新聞農業委員会だよりコンクールでは「全国農業新聞賞」を受賞いたしました。

これまでの努力を評価されたということで、誠に喜ばしい限りであります。

今回の23号から発行ページを増やしなが、さらに紙面を充実していくことにより、さらさらなる情報発信に努めてまいります。



▼(宮城県)農業委員会  
だよりの部 優秀賞

▼(全国)  
全国農業新聞賞

**農業者年金に加入しましょう！**

農業者年金は農業者の方なら広く加入できる年金です。

詳しくは、農業委員会事務局へお問い合わせください。

電話 42-1239

# 農業したいまち 栗原

栽培方法は毎年違う方法!?

目指せ! 効率的でおいしい

とうもろこし作り

志波姫荒町地区でスイートコーンを生産する、佐藤充さんは農業を始めて7年目になります。

7年目ですが、毎年同じ栽培方法はないといえます。

播種の時期や品種等、肥料の成分配合まで研究して、様々な方法を毎年試してい

るそうです。

野菜作りを始めたきっかけは、手間がかかるからやりがいがあると思ったと挑戦的でした。

現在は約1・4haを栽培していますが、9回に分けて収穫等作業をおこなっており、数人に手伝ってもらっているそうです。

とにかくおいしいとうもろこしを作りたいという意欲、自分が納得する仕事をしたいたいという熱意、そしてなによりも研究しながら楽しんで農業に取り組んでいる姿が印象的でした。

これからの展望としては「栽培面積を増やすことは考えていない。それよりも質の良いものを作り、売れないものを減らしていくことに力を入れたい」と語っていました。



【佐々木敬志さん】 【千葉徳男さん】 【佐藤充さん】  
佐々木さん、千葉さんも一緒に生産しています

## 直売所でみ〜つけた!

わかやなぎ農産物直売所 くりでん

☎0228-32-7707 毎日営業 (1/1~1/3休業)

旧くりはら田園鉄道若柳駅のすぐ隣にあり、持ち込みの新鮮な野菜やお惣菜、花など種類豊富に扱っています。開店してから2年が経過し、組合員は100人を超えました。

人気商品は店内で作った杵つきもちで、種類も豊富。手作りパン、手作りお惣菜も人気商品になっています。

今年からは朝市も開始し、8/3・13、9/7・21、10/5・19、11/2に

も開催されます。くりでん乗車会の際もイベントを行っていますので、活気のあるお店に是非行ってみたいはいかがでしょうか。



▲朝市の様子 (7/6 開催)



▲直売所のみなさん

## 農業者年金 Q & A

**Q** 子育て真っ最中で家計が大変なため、保険料の負担が心配です。

**A** そのときの経営状況に合わせて、保険料を見直すことができます。2万円(家計が大変なとき)から6万7千円(ガッチリ蓄えたいとき)まで千円単位で設定できます。



## 編集後記

今回より2ページ増になり、充実した文面になりました。さて、稲作は出穂期に入り今年も豊作を願いたいものです。お盆に夏祭りと行事が重なり、暑さの厳しい日が続きます。熱中症対策は万全に。そして、岩手・宮城内陸地震から5年が過ぎ、地震対策の備え、自分自身を守るのはいつ・いつ? 今でしょ!

(狩野正行委員)